

第 1540 回 (5 月 13 日)

メキシコ・モレロス州における米作 の社会経済的状況

(メキシコ国立農林業研究所)

ラファエル・アンブリス・セルバンテス

メキシコ・モレロス州における米作の現状と今後の対応についての報告がなされた。その要旨はおおむね以下のとおりである。

1. モレロス州の米作の現状について。

モレロス州は地理的にはメキシコ中央地域に属し、その面積は 495,800 ha で国土の 0.25% を占める小さい州である。そのうち農用地は 185,799 ha であり、うち灌漑地が 50,258 ha、天水地が 135,541 ha である。

モレロス州で栽培される作物は 30 種類以上にのぼるが、うち重要なものはメイズ、ソルゴー、砂糖きび、米、落花生、トマト、緑色トマト(チリソース用)、玉ねぎ、フリー・ホールなどである。

モレロス州の米作は、暑くやや湿気のある地域で発展してきた。

1960 年から 1990 年にかけて、米の収穫面積は減少傾向にある。しかしその一方、収量は 1960 年代の 4.7 ton/ha から 1990 の 7.6 ton/ha へと 61% も増加した。収量増大の原因はメキシコ国立農林業研究所のサカテペック試験場で開発された新品種が農民の間へ普及したことが大きい。この品種は高収量品種であり、とくに近年の品種であるモレロス A-88 とモレロス A-92 は病気にも強く、潜在収量は 10 ton/ha 以上である(粳米)。さらに苗を作る技術、田植の時期についての知識、灌漑、施肥技術、雑草防除技術、病害の防除技術などの進歩も多かった。

ところでモレロス州で生産された米は州内にある 3 つの精米業者へ販売される。精米業者は生産者から粳米を購入して、それを乾燥、粳刷り、精米、選別、袋詰めして商人へ売り渡すのである。商人は精米を消費者へ販売す

る。

1990 年における米の販売価格はつぎのとおりであった。農民の売り渡し米価(保証価格)は 700 ペソ/kg、精米業者の商人への売り渡し価格は 2,270 ペソ/kg、商人の消費者への売り渡し価格は 3,444 ペソ/kg であった。したがって単純に計算すれば精米業者は 1 kg 当り 1,570 ペソの差益を得ているわけであり、商人は 1 kg 当り 1,174 ペソの差益を得ていることになる。その一方農民は 1 kg 当り 700 ペソで販売しているが、これには生産費も含まれているのである。

2. 今後の有効と考えられる対応策について。

- ① 農民が米を生産する誘引をもつように米価を引き上げる。
- ② 社会経済的研究を推進する。これは農民の組織化をはかるうえで重要である。
- ③ 外国から安くて品質の悪い米が輸入されているので、それに対して国内生産者を保護する措置をとる。
- ④ 試験場における農業研究および普及所における技術の普及のありかたについて、いっそうの支援を行う。

(文責・明 石 光一郎)